

**製品名: MAP4K2/3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00806**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 92 kDa; Observed MW: 100 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP4K2/MAP4K3 Mitogen-activated protein kinase kinase kinase kinase 2; B lymphocyte serine/threonine-protein kinase; Germinal center kinase; GC kinase; MAPK/ERK kinase kinase kinase 2; MEK kinase kinase 2; MEKKK 2; Rab8-interacting protein; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 3; Germinal center kinase-related protein kinase; GLK; MAPK/ERK kinase kinase kinase 3; MEK kinase kinase 3; MEKKK 3
別名	
遺伝子 ID	5871/8491
SwissProt ID	Q12851/Q8IVH8
免疫原	ヒト GCK/GLK 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 221-270

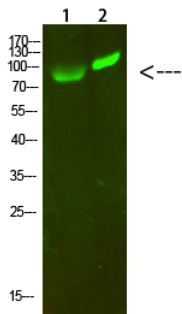
## 背景

セリン/スレオニンプロテインキナーゼは、MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として機能します。MAPK キナーゼキナーゼキナーゼ (MAP4K) として機能し、ストレス活性化プロテインキナーゼ/c-Jun N 末端キナーゼ (SAP/JNK) シグナル伝達経路の上流活性化因子であり、また、ある程度は p38 MAPK シグナル伝達経路の活性化因子でもあります。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



MAP4K2/3 抗体を使用した 293T、hela 溶解物中の MAP4K2/3 のウエスタンブロット分析。